



良質な資材を購入しよう ゼネコンは適正価格で

建設資材の買い叩きにより 品質は置き去りになる

■ ゼネコンの本来の役割は？ 責任は？

ゼネコンの役割は、発注者の求める建設物を納期通りに引き渡すために、専門工事業者を統指して工程・品質・原価・安全などの管理を行うことです。設計図書に基づいて資材を調達し、専門工事業に外注して工事を進めていきます。

しかし、工事現場で目にする建設会社の名前は、直接施主と契約を結んでいるゼネコンですが、実際に現場で働いている多くは、専門工事業者であり、作業者のほとんどは下請け・孫請け業者の作業です。

工事現場では、作業の進行に応じて、人や資材が毎日のように入れ替わります。大きな現場では、1日の作業者が数百人を越える場合も珍しくありません。このような工事現場全体をコントロールマネジメントするのがゼネコンです。

■ 安値の資材は必ず品質悪化を招く

「ゼネコンの下請けいじめ」ということが聞かれますが、ゼネコンの仕事は単純に専門工事業者への発注単価を切り下げ、責任施工をさせて終わるものではありません。

特に資材については後の建造物の品質に大きな影響を与えるため、良質なものを選択するべきでしょう。しかし、実際には安値での資材購入が横行し、建造物の安心・安全がないがしろにされています。私たちは、安心・安全な建造物が提供されることを目指し、ゼネコンに適正価格での良質な資材の購入を求めます。

連帯ユニオン関西地区生コン支部 大阪市西区川口2-4-28 Tel 06(6583)5546



連帯ユニオンニュース

2014年
6月26日号

ユーザーの信頼を失う事件が多発！

ゼネコンは品質の徹底管理を！

同じ過ちを繰り返してはならない！

六会生コン教訓に
安値購入廃止を！

6

年前、六会コンクリートが日本工業規格（JIS）で混入が認められていない「溶融スラグ」を入れた生コンクリートを製造・出荷した事件が起こり、大きな社会問題になりました。

溶融スラグはごみの焼却灰などから作られ、これを混ぜた生コンは剥離現象を起こしやすいくなります。六会生コンは、砂の代わりに1立方メートル当たりの原価が砂に比べ100円ほど安い溶融スラグを混ぜていました。

同工場が出荷した生コンは神奈川県内で300件以上の建築物に使われているとみら

れ、国土交通省は、物件の特定と建築基準法上問題がないかを調査しました。国交省によると出荷先は横浜市など同県の5市内とのこと。

このような、悪質極まりないコンプライアンス違反が繰り返されないようにするには、適正な品質の資材を適正な価格で購入することが必要です。その責任は元請であるゼネコンにあります。



際限なきコストダウンによって
安心・安全を奪わないで...

経営難で違法行為
倒産企業が続出！

今

大阪の生コン業界は、崩壊寸前です。最近では建設工事が増加傾向にあるにもかかわらず、激しい受注競争により価格破壊が極限に達しています。そのため採算性は極度に悪化。セメントメーカー

カー直系以外の生コン会社の倒産が相次いでいます。こうした状況を背景に、コンプライアンス違反を行ったり品質度外視の生コンを納入する企業が續出しています。このような建設業界の状況を正常化するためにも、ゼネコンは、良質な生コンを使用してユーザーのニーズに応える建造物の提供を！

良質な生コンでニーズに応えよう！

